

拠出金名：国際開発教育・研究機関拠出金

国際機関等名	アジア工科大学院 (英文名称・略称) Asian Institute of Technology (AIT)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	外務省 国際協力局 国別開発協力一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	(注1)	
平成17年度	15,754	147		1\$ = 107円	(2005年)(注2)	100
平成16年度	32,098	292		1\$ = 110円	(2004年) 1.0	100
平成15年度	44,500	365		1\$ = 122円	(2003年) 1.1	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(ドル)	率(%)	国際機関等の財源 (2005年度、未監査)(千ドル)		
1位	タイ	3,135,163	20.7	当該年度の収入 28,025		
2位	デンマーク	2,495,236	16.5	当該年度の支出 30,550		
3位	スウェーデン	1,982,582	13.1	次年度への繰越 -2,525		
4位	フランス	1,172,503	7.8	会計検査機関名		
5位	カナダ	987,483	6.5	内部：監査委員会		
上記の率及び順位は2004年のもの				外部：2005年はKPMGに委託 (現在の構成員の出身国：タイ、インド、スイス)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
東南アジア地域においては土木工学分野等の技術者が不足しており、AITは、この地域における同分野の優秀な人材の育成を行っている重要な機関として評価されている。また、AITには日本人教官が多数参画しており、従って日本にとっても、「日本の顔が見える」国際機関であると評価できる。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2005年に就任したイランドウースト学長のもと、AITの経営改革を積極的に進めている。本年になって「AIT戦略開発プラン」の策定に向けて、内外で協議中。						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人 (邦人教官は多数存在するが、職員ではない)	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にしめる率	1000人 0%(1名)			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称	職 員 氏 名		備 考			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
特になし						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年。

(注2) 我が国拠出金はAITの次年度予算で使用される。つまり、我が国17年度の拠出金はAITの2006年度予算で使用される。よって2005年度の拠出率は不明。